

令和2年度東京都オールドタイマーアイスホッケー大会 兼 全日本オールドタイマーアイスホッケーO-50大会 予選会大会要項（案）

R2. 9. 28.

1. 大会名称 令和2年度東京都オールドタイマーアイスホッケー大会
兼 全日本オールドタイマーアイスホッケーO-50大会 予選会
2. 主催 公益財団法人 東京都アイスホッケー連盟
3. 期間 令和2年10月8日（木）～令和3年5月 日（ ）
4. 会場 シチズンアイススケートリンク、江戸川スポーツランドほか
5. 出場選手の参加資格
 - 1) 令和2年10月7日までに東京都アイスホッケー連盟のオールドタイマーチームに登録されているもので、引き続き同チームに所属し、試合日までに年齢が50歳（ゴールキーパーは45歳）に達しているものとする。
女子選手については45歳（ゴールキーパーは40歳）に達しているものは参加できる。
 - 2) 参加チームには、別途送付する大会参加申込書を令和2年10月7日までにオールドタイマー委員会に、メールで提出する。
 - 3) 資格者は、移籍者を除いて随時登録を受け付ける。出場試合の1週間前までを期限とし、オールドタイマー委員会に登録の届け出を行うこととする。
6. 競技方法 0-50 全日本大会参加意思表示チーム 1回戦総当たりリーグ戦方式とする。
参加チーム：キャピタルズ、原宿ドランカーズ、シニアモンスターズ、慶応ドクターズ、成城スーパースターズ、王子東京オールドタイマーズ、バンスター、以上7チーム
0-50 全日本大会非参加チームは、2回戦総当たりリーグ戦とする。
参加チーム：十條ジェッツ、明治シルバーベアーズ、レッドアロー、満大メモリアルズ、以上4チームとする。
7. 競技規則 オールドタイマー競技要項による。
8. 組合せと日程 別紙参照（前年度の順位の最上位、最下位チームで初戦は行う）。また、リンク借入の都合により、連絡済の日程より未決定のチームの試合を繰上げる場合もあるが、連絡済の日程を繰り上げることはない。また、シチズンリンク、江戸川スポーツランド以外のリンクを使用することもある。
9. 順位 勝点方式により順位を定める。
 - ・勝点：勝ち3点、分け1点、負け0点
 - ・勝点と同点の場合は、①勝数、②当該チームの対戦成績、③当該チームの対戦得失点差、④総得失点差、⑤総得点の順で決める。
10. 参加料

大会参加費	40,000円
試合費	150,000円
<hr/>	
合 計	190,000円

11. 支払方法 10月31日までに下記口座に振込むものとする。

振込口座銀行名： 東京三協信用金庫 東伏見支店
口座名： 公益財団法人 東京都アイスホッケー連盟
口座番号： 普通0104798
振込人名： 団体名（チーム名）にて振込のこと

以上

オールドタイマー 競技要項 (案)

H26.8.21.

H28.7.26(改)

H30.8.22(改-2)

R2.9.28

- 1) 競技規則 この要項に定めるもののほか、日本アイスホッケー連盟規則及び国際競技規則による。ただし、アイシングをしたチームの選手交代を、ローカルルールとして認める。
- 2) 競技時間など
- (1) 試合時間
- | | |
|--------|---------------|
| 練習 | 5分 |
| 第1ピリオド | 15分 (ストップタイム) |
| インターバル | 3分 |
| 第2ピリオド | 15分 (ストップタイム) |
| インターバル | 3分 |
| 第3ピリオド | 15分 (ストップタイム) |
- (但し、リンク終了時間2分前に試合が終了しない場合その時点で試合終了とする)
- (2) ペナルティータイム
- | | |
|---------|-------------|
| マイナー | 2分のストップタイム |
| メジャー | 5分のストップタイム |
| ミスコンダクト | 10分のストップタイム |
- (3) アイシング規定
- 全日本大会に倣い、ハイブリットアイシングは適用しない。
- (4) ペナルティーの補足
- イ) ボディーチェックの禁止
ボディーチェックは、マイナー又はメジャーペナルティーが課せられる。
- ロ) スラップショットの禁止 (ハイスティックを含む)
スラップショット (膝より高い位置からパックをたたいた場合は、ゴールへのショットであろうとなかろうと、スラップショットの反則をしたものとみなす。) を行った選手はマイナーペナルティを課せられる。
- ハ) ファイティングの禁止
- (a) 競技者に闘拳により攻撃 (又は煽動) したとみなされた選手にはメジャーペナルティーと自動的なゲームミスコンダクトペナルティーが課せられる。
- (b) ファイティングペナルティーを科せられ選手は自動的に懲戒委員会の判断が下される迄出場停止処分となる。
- ニ) 同一の試合で3回ペナルティーを課せられた選手は、その試合の残り時間を退場となる。
- (5) ホームチームベンチ
シチズンベンチは、入口より奥ザンボロ側、江戸川は夜間入口より奥昼間入場口側とする。
- 3) ペナルティーの特記事項
全てのマッチペナルティーを課せられた選手は無期限出場停止処分とする。
- 4) 義務
全て練習・競技中はヘルメットの正規着用が義務付けられる。又、眼鏡着用者は、全日本大会は顔マスク着用が義務つけられているが、本大会は推奨に留める。将来は義務付けを検討するものとする。また、眼鏡非着用者についても、顔マスク・バイザーの着用を推奨する。また、国際基準のサーティフィケーションシールが貼付されたヘルメットなどを使用することも併せて推奨する。

5) 道具

GK防具等日本アイスホッケー連盟の定めた基準に、則った防具を使用できない明確な事由がある場合、ローカルルールとして、使用を認めるが、あくまでローカルルールであるので、他連盟にその影響力を及ぼすことはない。

6) 選手の人数

- (1) ユニフォーム着用は上限を設定しないが、全選手が出場できる様に取り計らうこと（ベンチウォーマーは、0 とすること）、該当チームがあった場合は失格ゲームとする。
- (2) 試合成立の為の人数は、試合開始までにゴールキーパー不在であっても、選手6人以上必要、第2ピリオド開始までに GK1名、プレーヤー8名に満たない場合は、試合を放棄したものとみなし不戦敗とする。

7) 補助規則

- (1) 棄権 試合を棄権するチームは試合日の24時間前までにその理由と共に連盟とオールドタイマーアドレスにメール連絡すること。
試合を棄権するチームは不戦敗（スコアは0対15）とする。
- (2) 当番 当番チームは原則8名以上が試合30分前に集合し、試合のオフィシャルを務める。8名に満たない場合両チームの判断に試合の成立を委ねる。
止むを得ず当番を肩代わりする時は、前項（1）棄権の連絡方法で行う。又、試合記録の管理、TIHFスコア連絡サイトへの入力を遅滞なく確実に速やかに行う。
- (3) 罰則 試合及び当番に遅刻、欠席、棄権及び連盟規約違反をした場合は、罰金から無期限出場停止までの罰則を課す。
当番の不足のため、試合が成立しない場合は、新たな試合費とレフェリー代を、当番チームが負担する。

8) スーパーバイザー

当番チームの責任者はスーパーバイザーとして連盟のオーバーコートを着用しその任に当たる。

9) コロナ対策

- (1) 同伴者 いかなる場合も、当該試合プレーヤー、監督、オフィシャル、レフェリー以外の者の、リンクへの入場は不可とする。
- (2) マスクの着用 リンク入場後は、更衣中も含めマスクは必ず着用。オンアイス（ベンチを含む）時のみ、着用を免除することができる。
- (3) レフェリー レフェリー、ラインズマンとも、マスクを着用し、電子ホイッスルを使用する。
- (4) レフェリージャージ 接触感染を防ぐため、各チームでジャージは用意し、連盟では貸し出さない。また、ヘルメット、レフェリー用レガードも同様貸し出さない。
- (5) 唾吐き リンク内外での唾吐きは即ゲームアウトとする。
- (6) オフィシャル人数 今回特例として、ゴールジャッジは配置せず試合を行う。それにより、オフィシャル参加人数は最小6名とする。

- (7)消毒の徹底 試合前の手指の消毒、使用したオフィシャル道具は、用意した除菌スプレーにより徹底的に消毒すること。
- (8)感染者の発生 コロナウィルス感染者が発生した時は、状況を鑑み、試合中が濃厚接触が疑われるときは、リーグを中断することも有る。
- (9)体調管理の徹底 チームのメンバーの体調管理を徹底し、少しでも体調不良を感じるものは、試合出場をさせないようチーム内で責任をもって管理すること。また、江戸川リンクでは、出場選手のメンバーのリスト及び、体調管理表を提出する門ものとする。
- (10)コロナ 全チーム全プレイヤーが、一人でも試合において感染者を出せば、リーグ戦が出来なくなることを強く認識し、絶対にクラスターを発生させないよう、皆さんの努力と協力のもとにリーグ戦を行うことを意識して下さい。

以上